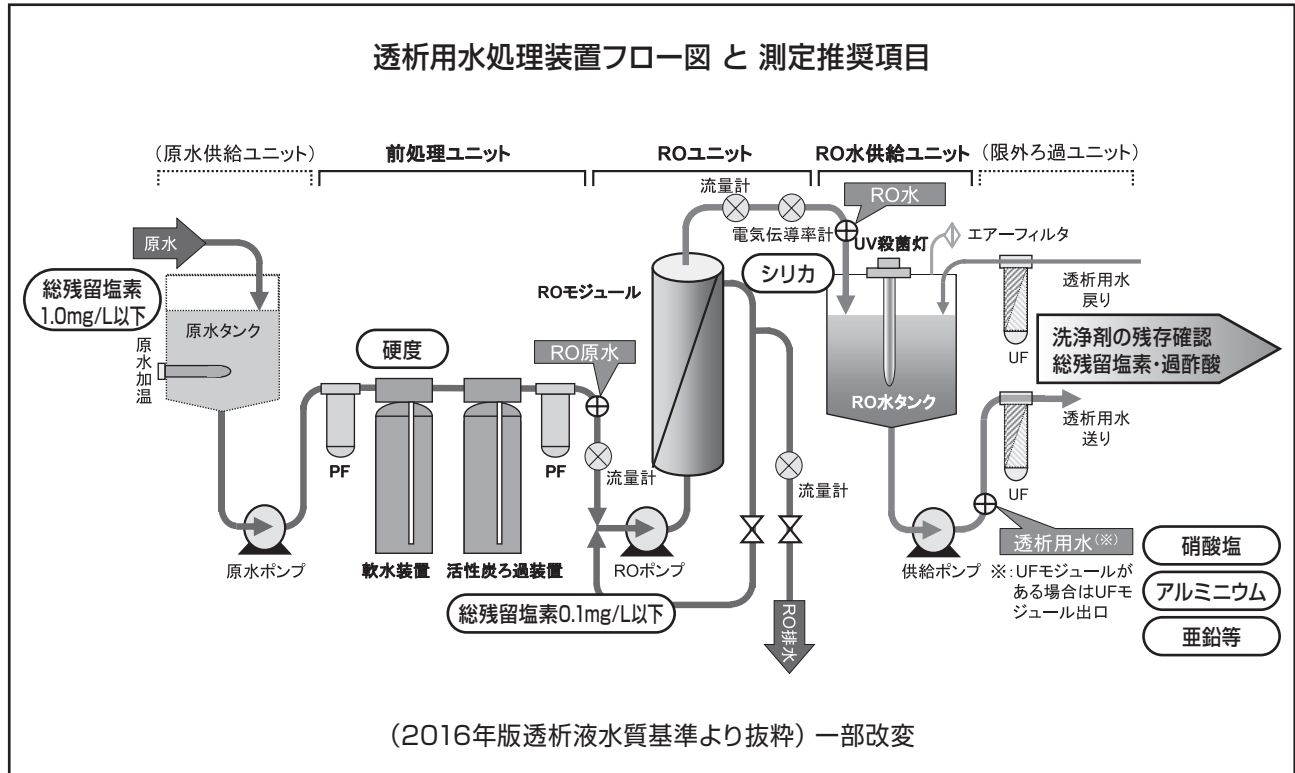


パケットシリーズを使用しますと、透析用水の日常管理に役立ちます。

特に、総残留塩素濃度については、2016年版透析液水質基準（一般社団法人日本透析医学会）において測定が推奨されており、管理基準0.1mg/L未満が設定されています。



目視判定はパケット、メーター使用ですと単項目測定ではデジタルパケット、1台で多項目測定の場合は、デジタルパケット・マルチSPのご利用を推奨致します。

機器により測定範囲が異なりますので、詳細は弊社Webサイトより各製品の情報をご参照ください。

## 総残留塩素

- ・総残留塩素(遊離塩素とクロラミンの合計)として分析する。
- ・試験はDPD法で実施する。
- ・管理基準は、活性炭ろ過装置の出口水の総残留塩素が0.1mg/L未満であること。測定頻度は透析施行日とする。
- ・原水も測定し、総残留塩素が1mg/L以上になった場合、測定頻度を透析治療ごとに変更する。

(2016年版透析液水質基準より抜粋)

推奨製品：消毒後の洗浄剤の残存量の測定にも使用できます。

- ・パケット総残留塩素 (型式:WAK-T-CIO)
- ・デジタルパケット総残留塩素 (型式:DPM2-T-CIO)
- ・デジタルパケット・マルチSP (型式:DPM-MTSP) 下限値0.05mg/L〜が測定可能です。



## 硬度

- ・透析施行日に軟水装置出口水の硬度を測定し、結果を運転日誌に記録する。
- ・管理基準は、硬度が検出されない(EDTA滴定法で指示薬を添加後に青色に着色すること)。

推奨製品：硬度分のリーク判定に使用できます。

(2016年版透析液水質基準より抜粋)

- ・ドロップテスト全硬度 (型式:WAD-TH)

## 過酢酸

- ・過酢酸系洗浄剤の残存量の判定。
- ・過酸化水素用のパックテストで発色しますので、濃度測定が可能です。

推奨製品：

- ・パックテスト過酸化水素 (型式:WAK-H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>)
- ・デジタルパックテスト過酸化水素 (型式:DPM2-H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>)
- ・デジタルパックテスト・マルチSP (型式:DPM-MTSP)

## シリカ

- ・シリカ濃度を日常的に管理することにより、RO膜の性能低下を早い段階で検知できます。

推奨製品：

- ・パックテストシリカ(低濃度) (型式:WAK-SiO<sub>2</sub>(D))
- ・デジタルパックテストシリカ(低濃度) (型式:DPM2-SiO<sub>2</sub>-D)
- ・デジタルパックテスト・マルチSP (型式:DPM-MTSP)

## 硝酸塩

- ・RO膜での阻止率は悪く、地下水利用の場合は多く含まれます。

推奨製品：

- ・パックテスト硝酸/硝酸態窒素 (型式:WAK-NO<sub>3</sub>)
- ・デジタルパックテスト硝酸/硝酸態窒素 (型式:DPM2-NO<sub>3</sub>)
- ・デジタルパックテスト・マルチSP (型式:DPM-MTSP)

**パックテストシリーズは他にも、透析用水化学的汚染基準の「アルミニウム」「鉛」「亜鉛」など多数の項目をラインアップしております。**

参考文献： 峰島, 川西, 阿瀬, 川崎, 友, 中元: “2016年版 透析液水質基準”, 透析会誌, **49**, 697 (2016)

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsdt/49/11/49\\_697/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsdt/49/11/49_697/_article/-char/ja/)